

四 第2次三重県男女共同参画基本計画（改定版） に基づく令和2〔2020〕年度事業実施概要

I 職業生活における女性活躍の推進	
I－I 雇用等における女性活躍の推進	19
I－II 農林水産業、商工業等に係る自営業における女性活躍の推進	26
I－III 仕事と子育て等の両立できる環境整備の推進	30
II 男女共同参画を推進するための基盤の整備	
II－I 政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	35
II－II 男女共同参画に関する意識の普及と教育の推進	39
III 男女が安心して暮らせる環境の実現	
III－I 家庭・地域における男女共同参画の推進	45
III－II 生涯を通じた男女の健康と生活の支援	49
III－III 男女共同参画を阻害する暴力等への取組	58
計画の推進	66

第2次三重県男女共同参画基本計画（改定版）を着実に推進するため策定された第二期実施計画（改訂版）に掲げる事業について、令和2年度の実施状況を概要としてまとめたものです。

なお、担当課名は、令和3年度の名称となっています。

I 職業生活における女性活躍の推進
I-I 雇用等における女性活躍の推進

1 女性活躍推進の機運醸成

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
<p>(1) 若手女性人材育成講座の開催</p>	<p>・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、これからの男女共同参画に必要な人材を育成する講座を実施し、参加者へ修了証を発行した。</p> <p style="padding-left: 20px;">＜種まきプロジェクト“働く”編＞ 「“自分なんか”→“自分だから”へ！ 近未来リーダー育成プロジェクト」 開催日：令和3年1月13日（水） 22日・29日（各金） 参加者数：延べ24名</p>	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>「働く女性のネットワーク三重」に関する取組</p>	<p>・男女共同参画センター「フレンテみえ」では、県内の働く女性で構成される「働く女性のネットワーク三重」の活動を支援した。</p>	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>(2) 「女性の活躍推進三重県会議」の加入促進</p>	<p>・「女性の活躍推進三重県会議」への加入促進に取り組んだ結果、19団体の新規加入があり、会員数は526団体となった。（令和3年3月31日現在）</p>	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
<p>(3) 「女性の活躍推進三重県会議」の運営を通じた県内の女性活躍推進の気運醸成</p>	<p>・「女性の活躍推進三重県会議」を主体とし、県内の事業所等における女性の活躍推進に向けた取組を支援する「みえの輝く女子プロジェクト」に引き続き取り組んだ。具体には、企画委員会において企業の視点からの意見を伺いながら、①女性が活躍できる職場環境と風土づくり、②トップおよび男性の意識改革、③働く女性のモチベーション向上の3つの柱に沿った支援を行った。</p> <p>①女性が活躍できる職場環境と風土づくり UN Women（国連女性機関）が展開する「HeForShe」（女性の地位向上に男性の参加を呼びかける社会連帯運動）の趣旨の浸透を図るため、社内の「仕組み」を変えることで「行動」が変わり女性の活躍につながった取組事例を公募・顕彰する「チェンジ・デザイン・アワード2021」を実施した。</p> <p>②トップおよび男性の意識改革 「みえの輝く女子フォーラム2021」（令和3年1月26日開催）において、多様な価値観を持つ人材のマネジメントが企業にとって喫緊の課題となっていることから、「～withコロナの時代に求められるダイバーシティ・人事制度・評価の考え方～カゴメの“生き方改革”と経営に資する人材の育成」をテーマにした基調講演を開催した。</p> <p>③働く女性のモチベーション向上 自身のキャリア等について考え、新たなネットワーク構築の機会とするため、県内企業等で働く女性が女性活躍のロールモデルやみえの女性リーダー育成講座「みえたま塾」修了生と交流する「働く女性のネットワーク交流会」を開催し、ロールモデルの講演やパネルディスカッション、グループワークを実施した。</p>	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>(4) 情報誌の発行</p>	<p>・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、情報誌「Frente」を発行した。 年4回発行、各9,250部</p>	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>Facebookページを活用した情報発信</p>	<p>・さまざまな媒体を用いてわかりやすく広報・啓発を行うため、「女性の活躍推進三重県会議」のFacebookページを活用して、フォーラム等の開催告知や実施概要等を発信した。</p>	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>(5) 女性の異業種間交流</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、「みえ・花しょうぶサミット」の開催を中止した。</p>	<p>雇用経済部雇用対策課</p>
<p>(6) 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定支援</p>	<p>・県内の中小・小規模企業等を対象として、一般事業主行動計画の策定の支援に関する取組を行った。</p> <p>①一般事業主行動計画策定セミナーの開催 17社参加</p> <p>②女性活躍推進アドバイザーの派遣による計画策定支援 12社策定</p>	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>女性活躍をテーマにした出前講座</p>	<p>・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、女性活躍推進法に基づく企業内での女性活躍をテーマにした出前講座「フレンテトーク」を県内自治体などに向けて実施した。 実施回数：5回、参加者数：160名</p>	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>

2 男性中心型労働慣行の見直しと働き方改革の促進

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
(1) 企業におけるワーク・ライフ・バランスの取組支援	<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革に意欲的に取り組もうとする中小企業に、アドバイザーを派遣し、生産性の向上や労働環境改善の課題解決を図るとともに、事例発表や意見交換を行う共有会の開催など、企業における働き方改革の取組を推進した。 アドバイザー派遣：10社 	雇用経済部雇用対策課
(2) 「イクボス」の推進	<ul style="list-style-type: none"> 職場で共に働く部下の仕事と家庭の両立を応援する“イクボス”の取組や精神が広がり、女性の活躍や男性の育児参画が当たり前となる社会をめざすため、企業等に対し「みえのイクボス同盟」への加盟を呼びかけるとともに、加盟企業・団体に対して、メールマガジンで働き方改革や男性の育児休業取得促進など、国や県の取組に係る情報提供を行った。 同盟加盟数：756企業・団体（令和3年3月31日現在） 	子ども・福祉部少子化対策課

3 仕事と生活の調和の推進

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
(1) 県内事業所労働条件等実態調査 「三重の労働」の発行 仕事と生活の調和推進のための環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の事業所の実態を把握するため、三重県内の事業所の労働条件や労働環境を調査した。 ・「三重の労働」を発行した。 発行回数：6回（県ホームページに掲載） ・企業が働き方改革に取り組むことの必要性について理解を深め、地域全体で働き方改革をさらに推進するためのセミナーを開催した。 開催日：令和2年10月6日（火） 参加者数：71名 開催日：令和3年2月18日（木） 参加者数：64名 	雇用経済部雇用対策課 雇用経済部雇用対策課 雇用経済部雇用対策課
(2) 企業表彰・認証の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク・ライフ・バランスの推進などに取り組んでいる企業等を募集し、優れた取組を県内に広めることにより、地域社会全体での「働き方改革」の取組推進を図ることを目的に、「みえの働き方改革推進企業」登録・表彰制度を実施した。 ○登録企業57法人のうち、4法人を表彰 	雇用経済部雇用対策課
(3) 県庁における「ワーク・ライフ・マネジメント」の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・意識・組織風土改革の推進、ワーク・マネジメントの推進、ライフ・マネジメント支援の推進を重点方針として、時間外勤務の削減や年次有給休暇の取得促進等に労使協働で取り組んだ。 	総務部総務課

4 雇用環境の整備

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
(1) 先駆取組企業を紹介する事例集の配布	・「チェンジ・デザイン・アワード2021」に応募のあった19団体の取組を紹介する事例集を作成し、県のホームページに掲載した。	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
ポジティブ・アクション取組事例の紹介	・知事表彰（「みえの働き方改革推進企業」知事表彰）を受けた企業の取組事例をパンフレット等に掲載・配布し、周知啓発を行った。	雇用経済部雇用対策課
労働相談の実施	・労働者や使用者から寄せられるさまざまな労働問題を解決するため、「三重県労働相談室」を設置し、専任の相談員がアドバイスを行うとともに、専門的な相談には弁護士相談を実施した。 相談件数：1,201件	雇用経済部雇用対策課
公共工事入札時の評価項目の継続実施	・公共工事の総合評価方式において、関係部局と調整し「男女共同参画」や「次世代育成支援」など企業の社会的責任等に係る取組を評価しており、継続評価を行うことで建設業界でもこのような取組を徐々に広げた。	県土整備部公共事業運営課
物件関係入札時の評価項目の継続実施	・物件関係（清掃、警備業務等）の総合評価一般競争入札において、「男女共同参画」や「次世代育成支援」など、企業の地域社会貢献度を評価項目として設定している。 令和2年度総合評価一般競争入札（清掃、警備業務）実施件数7件（WTO案件4件を除く）	出納局会計支援課
(2) ハラスメントのない職場づくりの促進	・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、ハラスメントをテーマにした出前講座「フレンテトーク」を実施した。 実施回数：13回、参加者数：603名	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(3) 「女性が働きやすい医療機関」認証制度の実施	・医療機関の主体的な取組を通じて、勤務環境改善の取組を促進するため、「女性が働きやすい医療機関」認証制度に取り組んでいる。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響による医療機関の負担等を考慮して再認証対象の医療機関のみ審査を実施し、2医療機関を認証した。	医療保健部医療介護人材課

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
<p>(4) 病院内保育への支援</p> <p>県立病院内保育所における保育サービスの提供</p> <p>(5) 多様な勤務形態の検討・実施</p> <p>(6) セクシュアル・ハラスメントの防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の病院内保育施設における保育士の人件費の一部を助成した。 助成保育施設：25施設 ・看護師等の職業生活と家庭生活の両立を支援するため、こころの医療センターに設置している院内保育所において、保育サービス（夜間保育、延長保育、一時保育を含む）を提供した。 ・多様な働き方の取組として、在宅勤務、時差出勤勤務を実施した。 ・セクシュアル・ハラスメントの防止を含めた服務規律の確保や不祥事防止について、新規採用職員研修や新任所属長研修等での周知徹底、ハラスメント相談窓口リーフレットの配布を行った。 ・ハラスメント外部相談窓口を設置した。 相談方法：専門相談員が電話で対応 相談時間：月～金曜日12時～21時 土曜日 9時～17時 	<p>医療保健部医療介護人材課</p> <p>病院事業庁県立病院課</p> <p>総務部人事課</p> <p>総務部人事課</p>

5 女性の再就職支援

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
(1) 女性の就労支援	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響や、子育て・介護等により離職し、再就職を希望する女性を対象に、再就職への不安や悩みを解消するとともに、スキルアップをサポートする研修のほか、就職相談、企業と求職者との意見交換会、企業見学等をオンライン形式にて実施した。 また、おしごと広場みえに女性専用の相談窓口を令和2年6月に設置し、就職相談を実施した。 スキルアップ研修受講者：延べ396名 (録画配信の視聴者を含む) 企業と求職者との意見交換会参加者：5名 企業実地研修参加者：1名 就職相談：延べ44名(おしごと広場みえ分を含む) 	雇用経済部雇用対策課
(2) 能力開発への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢の変化やニーズに対応した職業訓練の実進を進めるとともに、関係機関と連携し積極的にPR活動を行った。 〈津高等技術学校 普通職業訓練 短期課程〉 建築CAD科：4か月課程 10名(うち女性9名) パソコンCAD科：6か月課程 9名(うち女性9名) オフィスビジネス科：6か月課程×2回 27名(うち女性23名) OA事務科：障がい者対象(1年課程) 5名(うち女性1名) 委託訓練：OA系、介護系、保育系、医療事務系等 48講座(3か月、2年) 547名(うち女性433名) 	雇用経済部雇用対策課
(3) 出産・育児等により退職した女性医師等に対する復帰支援	<ul style="list-style-type: none"> ・出産・育児等により退職した女性医師等に対する情報提供や、復帰に係る就労環境改善への支援などを行った。 	医療保健部医療介護人材課
出産・育児等により退職した潜在看護職員に対する就業相談・研修会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・潜在看護職員に対する就職相談、無料職業紹介、就職説明会の開催および復職に向けた実技研修を実施した。 就職相談：延べ10,705件 無料職業紹介・斡旋による就業者数：348名 就職説明会の開催：9回 実技研修の参加者数：24名 	医療保健部医療介護人材課

I-II 農林水産業、商工業等に係る自営業における女性活躍の推進

1 方針決定の場への女性の参画促進

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
(1) 男女共同参画推進 施策等の情報提供 の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・農村女性アドバイザー全会員に発信される「アドバイザー通信」において男女共同参画の情報提供を行った。 啓発回数：1回 対象者数：延べ109名 ※地域の研修会を1回開催することを計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 	農林水産部担い手支援課、水産振興課、森林・林業経営課
(2) 農山漁村のつどいの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センター「フレンテみえ」との共催で「第33回農山漁村のつどい」を開催した。 「農山漁村でみんながイキキ〜一人ひとりが役割を担い活躍できる家族経営〜」というテーマでの講演を行うとともに農林水産品の展示・即売を実施した。 開催日：令和3年3月7日（日） 開催場所：男女共同参画センター「フレンテみえ」 参加者数：54名 	農林水産部担い手支援課、水産振興課、森林・林業経営課
(3) 女性農業委員選任 の働きかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・農業委員会法の改正を機に、女性農業委員の選任を促した。令和2年度、3年度に改選を予定している6農業委員会事務局を訪問し、直接の働きかけを実施した。 	農林水産部担い手支援課
(4) 農業委員会、農漁協役員等に女性が参画するための意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー通信において、農業委員会への参画に向けた周知を行った。 啓発回数：1回 対象者数：延べ109名 ※地域の研修会を1回開催することを計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 	農林水産部担い手支援課、水産振興課、森林・林業経営課
農山漁村女性団体間の交流・連携を進め、女性の社会参画を共通の問題として提起	<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体代表（JAみえ女性連絡会議、漁協女性部連合会、酪農女性会議、畜産女性の会、農村女性アドバイザー、指導農業士会）とともに農山漁村のつどい実行委員会を開催し、男女共同参画推進のための企画を検討し、「第33回農山漁村のつどい」を実施した。 	農林水産部担い手支援課、水産振興課、森林・林業経営課

2 女性が働きやすい環境の整備

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
(1) 農村女性起業活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> 各地域において、女性起業家や起業希望者の経営管理能力向上、農産加工技術向上等を目的とした研修会等を開催した。 ※シリーズ開催は1回としてカウント 開催回数：19回 参加者数：延べ349名 	農林水産部担い手支援課
(2) 畜産女子の取組	<ul style="list-style-type: none"> 畜産女子の活躍を促進するため、県内農業高校生に対する畜産への理解促進等を目的とした畜産女性ネットワークの取組を支援した。 県内農業高校生を対象とした出前授業：4回 	農林水産部畜産課
(3) 水産業に携わる女性の交流・連携、ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> 漁村女性アドバイザーが加入する三重県漁業士会の運営を行った。 漁村女性アドバイザー会員数：6名 	農林水産部水産振興課
(4) 農村・漁村女性アドバイザーの新規認定	<ul style="list-style-type: none"> 農村・漁村女性アドバイザーを新規に認定した。 農村女性アドバイザー：3名（計108名） 漁村女性アドバイザー：0名（計11名） 	農林水産部担い手支援課、水産振興課
アドバイザー研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> 農村・漁村女性アドバイザー研修を実施した。 地域単位での研修等：16回（農村16回） 県内全地域を対象とした研修会：0回 ※農村女性アドバイザー研修を1回、漁村女性アドバイザー研修を2回開催することを計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 	農林水産部担い手支援課、水産振興課
(5) 農業、漁業に従事する女性対象に、経営参画に向けた経営能力・生産技術等の向上を図る研修会	<ul style="list-style-type: none"> 経営能力向上をめざした雇用管理研修や栽培技術等の研修会を実施した。 開催回数：7回（農業） 参加者数：延べ134名（農業） 漁村女性アドバイザー等を対象とした研修会を2回開催することを計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 	農林水産部担い手支援課、水産振興課

3 家族的経営における働きの評価と仕事と生活の調和の推進

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
(1) 家族経営協定締結の推進	・経営改善計画策定、制度資金活用、ライフステージの変化等の機会を通じて、家族経営協定の締結を推進した。 令和2年度新規締結農家数：11戸（累計：409戸）	農林水産部担い手支援課
農漁協、森林組合の女性組合員数把握、自営業における女性従事者の経営参画促進	・農業・漁業協同組合、森林組合の正組合員の女性割合を把握し、公表した。 （正組合員における女性割合） 農業協同組合 21.4%（令和2年度） 漁業協同組合 8.8%（令和元年度が最新値） 森林組合 10.1%（令和元年度が最新値）	農林水産部担い手支援課、水産振興課、森林・林業経営課
(2) 家族従事者の働き方を学ぶ機会を提供	・普及組織による6次産業化研修を実施した。 開催回数：6回 参加者数：延べ137名	農林水産部担い手支援課
(3) 酪農ヘルパー制度の利用促進	・農家への巡回、指導等の際に酪農ヘルパー制度の周知を行った。	農林水産部畜産課

4 起業家等に対する支援

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
(1) 情報や研修機会の提供	・「TOKOWAKA-MIE START UP PROGRAM2020」の開催(全9回)や女性起業家応援事業(全2回)などを通じて、起業に関する情報や研修機会を提供した。	デジタル社会推進局 デジタル事業推進課
(2) 商工団体による創業促進の支援	・創業を促進する商工団体の取組を支援した。 創業支援実績：200件	雇用経済部中小企業・サービス産業振興課
(3) 6次産業化等で起業しやすいよう研修会を通じた情報提供・能力開発	・漁村女性アドバイザー等を対象とした研修会を2回開催することを計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。	農林水産部水産振興課
就農のための情報提供	・農林水産支援センターと連携し、就農・就職フェアを開催した。 開催回数：1回 参加者数：延べ40名	農林水産部担い手支援課
(4) 国等関係機関と連携した女性アスリートの発掘・育成・強化	・「女性アスリートタレント発掘・育成事業～MIEスーパー☆(スター)プロジェクト～」 女子ラグビー、自転車競技に種目特化したアスリートを発掘・育成する事業を実施した。 教育・育成プログラム 8回 キャンプ 2回 専門プログラム ラグビー63回、自転車32回 ・オーディションを実施し、第5期生を認定した。 (ラグビー4名、自転車2名) ・第2期生が3年間のプログラムを修了した。 (ラグビー6名)	地域連携部競技力向上対策課
(5) 女性アスリートおよび指導者への研修会の開催	・女性アスリート、指導者および保護者等への研修会を年2回開催した。	地域連携部競技力向上対策課

I-III 仕事と子育て等の両立できる環境整備の推進

1 多様なニーズに対応した子育て支援

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
(1) 待機児童解消に向けた市町の取組支援	<ul style="list-style-type: none"> 待機児童の解消に向けて、認定こども園等の整備や低年齢児保育充実のための保育士加配に取り組む市町に対して支援を行った。 低年齢児保育充実事業費補助金対象市町：15市町 (117か所) 	子ども・福祉部少子化対策課
(2) 多様な保育等への支援	<ul style="list-style-type: none"> 低年齢児保育、延長保育、一時保育、休日保育、病児・病後児保育等の多様なニーズに対応する取組への補助を行った。 延長保育実施数：267か所 (厚生労働省調査による令和元年実施数) 病児・病後児保育事業実施市町：25市町 (広域利用・ファミリー・サポート・センター含む) 	子ども・福祉部少子化対策課
子ども家庭相談・子ども医療ダイヤルの実施	<ul style="list-style-type: none"> 子どもに関する相談窓口として「子ども家庭相談電話」を実施するとともに、看護師等が対応する「小児夜間医療・健康電話相談（みえ子ども医療ダイヤル）」を実施した。 相談件数：7,363件 (子ども家庭相談電話：288件、医療ダイヤル：7,075件) 	医療保健部医療政策課、子ども・福祉部少子化対策課
預かり保育の支援	<ul style="list-style-type: none"> 預かり保育を実施している私立幼稚園等に対し、その経費の一部を助成した。 助成幼稚園数：13園 	子ども・福祉部少子化対策課
(3) 施設型・地域型給付による、幼児教育・保育の総合的な提供	<ul style="list-style-type: none"> 施設型給付（幼稚園・認定こども園・保育所）および地域型給付（小規模保育等）を行い、幼児教育・保育の総合的な提供を図った。 	子ども・福祉部少子化対策課
(4) 放課後児童クラブの設置・運営支援	<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童クラブの設置・運営に係る経費の一部を助成した。 放課後児童クラブ数：432か所（令和2年5月1日現在） 放課後児童クラブの指導員等を対象に研修を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ○放課後児童支援員県認定資格研修 開催回数：県内3会場 計3回 ○子育て支援員研修（放課後児童コース） 開催回数：県内1会場 計1回 	子ども・福祉部少子化対策課
(5) ファミリー・サポート・センターの設置促進	<ul style="list-style-type: none"> ファミリー・サポート・センターの運営に係る経費の一部を助成した。 実施市町数：28市町 助成市町数：21市町 	子ども・福祉部少子化対策課

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
<p>(6)</p> <p>地域子育て支援センターの運営支援</p> <p>乳幼児を持つ家庭の支援</p> <p>市町の児童相談体制支援と専門的支援</p> <p>保育士等からの相談に対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における子育て支援の中核となる地域子育て支援センターの運営を補助し、子育て家庭の交流、相談事業活動を行う市町を支援した。 実施市町数：29市町 助成対象数：123か所（29市町） ・「みえ家庭教育応援プラン」に基づき、市町やPTA安全互助会等と連携し、保護者同士のつながりを築き、孤立を防ぐことを目的とした「みえの親スマイルワーク」を開催した。 開催回数：3回 参加者数：86名 ・市町の児童相談対応力を強化するため、「児童相談体制及び専門性強化に向けた確認票」をツールとして、課題解決に向けて取り組むとともに、市町における子ども家庭総合支援拠点の設置を促進するため、子ども家庭総合支援拠点アドバイザー事業を実施した（21市町、25回）。 ・各児童相談所において、心理職員や精神科医による、心理学的検査、精神医学上の判定など専門的な支援を行った。 ・総合教育センターにおいて保護者や保育士、幼稚園教諭からの相談に対応した。 面接延べ件数：353件 	<p>子ども・福祉部少子化対策課</p> <p>子ども・福祉部少子化対策課</p> <p>子ども・福祉部子育て支援課</p> <p>教育委員会事務局研修企画・支援課</p>
<p>(7)</p> <p>潜在保育士等への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・潜在保育士の現場復帰支援研修や就労相談および新任保育士の就業継続支援研修を実施した。 保育士等キャリアアップ研修 保育実践 潜在保育士参加者数：0名 就労相談件数：606名 新任保育士就業継続支援研修 修了者数：194名 	<p>子ども・福祉部少子化対策課</p>

2 男性の育児参画の推進

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
(1) 普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・男性の育児参画が大切であるという考え方が広まるよう、県内商業施設等において第7回ファザー・オブ・ザ・イヤーinみえの受賞作品を展示する写真展を計7回実施するとともに、男性の育児参画に関するハンドブック等を配布して啓発を行った。 	子ども・福祉部少子化対策課
イクボスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の仕事と家庭の両立を支援する組織風土を醸成するため、イクボスの推進に向けた取組を実施した。 ○全所属長のイクボス宣言の実施 ・「男性の子育てのための休暇・休業」の取得向上に向け、「男性職員の子育てのための休暇・休業取得促進プログラム」を実施した。 	全部局、総務部人事課 総務部人事課
(2) 男性の育児参画	<ul style="list-style-type: none"> ・男性の育児参画の促進に向けて「みえの育児男子プロジェクト」に関するさまざまな取組を実施した。 ○第7回ファザー・オブ・ザ・イヤーinみえ表彰式 日時：令和2年11月28日（土） 実施場所：高田会館 応募総数：1,350件 内容：表彰式、受賞者紹介、トークショー ○NEXT親世代トーク 日時：令和2年9月17日（木） 実施場所：県立宇治山田商業高校 参加者：商業科2年 37名 ○「パートナーと一緒に取り組む育児」オンラインワークショップ 日時：令和3年2月25日（木） 参加者：19名 	子ども・福祉部少子化対策課
(3) ハラスメントのない職場づくりの促進	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、ハラスメントをテーマにした出前講座「フレンテトーク」を実施した。 実施回数：13回、参加者数：603名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

3 介護を支援する環境の整備

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
(1) 老人福祉施設等の整備	・老人福祉施設等の整備を支援した。 主な整備数：特別養護老人ホーム 3施設、180床	医療保健部長寿介護課
地域包括支援センター運営の支援	・地域包括支援センターに係る研修会を開催した。 開催回数：4回 ・地域ケア会議へ専門家を派遣した。 派遣人数：延べ2名	医療保健部長寿介護課
軽費老人ホーム等の運営支援	・居宅で生活が困難な高齢者が、低額な料金で安心して生活を送ることができるよう、軽費老人ホーム等35施設に対し運営費助成を行った。	医療保健部長寿介護課
介護予防に係る取組の支援	・介護予防に係る市町ヒアリングを実施した。 実施回数：29回	医療保健部長寿介護課
(2) ホームページでの情報提供	・県のホームページにおいて、介護保険制度の仕組みなど高齢者福祉・介護保険に関するさまざまな情報を提供した。	医療保健部長寿介護課
(3) 介護保険制度の運営に係る研修	・①要介護認定調査員、②介護認定審査会、③要介護認定適正化に関する研修会を開催した。 開催回数：計6回（①2回、②3回、③1回）	医療保健部長寿介護課
介護サービス等に関する相談	・三重県国民健康保険団体連合会等が介護サービス利用者や家族等からの相談、苦情に対応した。	医療保健部長寿介護課
介護保険相談・苦情・事故発生時の対応マニュアルの配布	・介護サービスに関する相談・苦情があったときや、事故が発生したときの対応マニュアルを全ての介護サービス事業所、保険者（市町等）に配付し、介護サービスの質の向上を図るための情報を共有した。	医療保健部長寿介護課

Ⅱ 男女共同参画を推進するための基盤の整備
Ⅱ-I 政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

1 県の審議会等委員への女性の参画

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
(1) 審議会等における女性委員の選任	<ul style="list-style-type: none"> ・「男女共同参画の視点で進める三重県附属機関等への委員選任基本要綱」に基づき、県の各附属機関の委員構成において、女性委員の割合が委員総数の40%以上、60%以下となることをめざし、各部局へ働きかけを行った。 女性委員の割合が委員総数の40%以上、60%以下となる構成の附属機関の割合：65.7%（令和2年4月1日現在） （目標：令和2年4月1日までに66.7%とする） 女性委員のいない附属機関：3機関 （目標：女性委員のいない附属機関は解消を図る） 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(2) 審議会等における女性委員の選任に向けた各部局の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・各部局において、「男女共同参画の視点で進める三重県附属機関等への委員選任基本要綱」に基づき、取組を進めた。また、女性委員の割合が委員総数の40%未満となる場合には、環境生活部へ事前協議を行い、女性委員の割合を高めるための方策を検討した。 	全部局
(3) 人材リストの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・県の附属機関の委員候補となる女性人材の情報を掲載した「アイリス人材リスト」を活用し、各部局における附属機関等への女性委員の選任を支援した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

2 県における女性職員等の登用

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
<p>(1) 女性職員の採用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県職員の業務を説明する「三重県庁おしごとセミナー」等において、仕事と家庭の両立等をテーマに職員による講演を行ったり、職員から直接話を聞く機会を設けたりしたほか、三重県職員採用案内パンフレットやホームページにおいて、育児休業経験者の経験談や次世代育成支援制度の紹介の記事を掲載するなど、男女共に働きやすい環境をアピールした。 説明会参加者数：12月開催（オンライン）260名 3月開催（オンライン）732名 ・少人数制（1班10名程度）の職場見学や職員との懇談を内容とする「三重県職員オンラインガイダンス」を開催し、職場の雰囲気を感じていただくとともに、男女が共に参画して働くことができる職場であることを周知した。 令和3年2月 15班開催 参加者数：延べ118名 	<p>人事委員会事務局</p>
<p>(2) 女性活躍推進のための特定事業主行動計画に関する取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・女性職員活躍推進のための特定事業主行動計画に管理職への女性職員登用率の目標を掲げるとともに、「女性登用の推進」を人事異動方針の項目に掲げた。 管理職への女性職員登用率：11.0% 本庁知事部局における管理職への女性職員登用率：13.3% （令和2年4月時点、教員および警察職員を除く県職員） ・「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づき、女性の職業選択に資する情報を公表した。 ・女性活躍推進法に係る特定事業主行動計画（後期計画）を策定した（計画年度 令和3年度～令和7年度）。 ・労使協働委員会男女協働小委員会において、女性活躍推進について、意見交換を2回実施した（令和2年9月25日、10月28日）。 ・「仕事と介護の両立支援制度」のチラシを作成した。 	<p>総務部人事課</p>
<p>女性教職員の登用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍推進法に係る特定事業主行動計画に基づき、管理職に占める女性職員の割合を高める方針を明確にし、取組の実施状況等について公表した。 ・引き続き、「令和2年度小中学校・義務教育学校教職員人事異動実施要領」および「県立学校教職員人事異動実施要領」の中に、「女性の意欲と能力を重視する」と記載するとともに、教頭任用候補者選考においては、校長推薦枠を「男女各2名以内、ただし女性は3名まで推薦可」と明示した。 ・これを受け、小中学校にあっては市町等教育委員会に、県立学校にあっては県立学校長に、それぞれこの趣旨を伝え、管理職選考試験の女性教職員の受験を奨励するとともに、主任等への積極的な登用を依頼した。 ○新たに管理職に登用した女性の割合 小中学校：26.0%、県立学校：29.4% ○管理職に占める女性の割合 小中学校：24.1%、県立学校：13.2% ○令和2年度実施の管理職選考試験受験者に占める女性の割合 小中学校：26.9%、県立学校：22.0% 	<p>教育委員会事務局教職員課</p>

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
<p>女性活躍推進のための特定事業主行動計画に関する取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「三重県警察における次世代育成計画と女性活躍推進のための取組計画」に掲げる目標「令和7年度までに、全警部に占める女性警察官の割合を6%以上および全警部補に占める女性警察官の割合を8%以上にすること、男性職員の配偶者出産休暇および育児参加休暇の取得率をおおむね100%にすること」の達成に向けて、引き続き、女性警察官の職域の拡大や、当該休暇の取得奨励をはじめとする仕事と育児の両立支援など働きやすい職場環境づくりに取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ○全警部および全警部補に占める女性警察官の割合 (令和3年4月1日現在) 警部：3.1% 警部補：7.1% ○男性職員の配偶者出産休暇取得率 67.5% ○男性職員の育児参加休暇取得率(育児休業を含む) 77.9% ・令和3年度に警部補、巡査部長に昇任予定の女性職員および採用3年未満の女性警察官を対象に、キャリア形成に対する意欲の向上に資することを目的とした資料の配布を行った。 配布数：女性職員59名 	<p>警察本部警務部警務課</p>
<p>(3) 女性職員の活躍につながる研修の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革の流れの中で、これからの公務における「在宅勤務」、「Web会議」の活用について、これまでの職場の取組事例や、企業の事例を交えた研修を実施した。 開催日：令和2年8月4日(火) 参加者数：25名 	<p>総務部人事課</p>
<p>(4) 多様な現場や職務経験の機会付与</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用後8～10年の間に、県政に対する幅広い視野の育成を図るとともに、子育て等によりキャリアの中断が生じても、その後のキャリアデザインを前向きに描けるよう、多様な現場や職務を経験させることを意識した配置を行った。 	<p>総務部人事課</p>
<p>(5) 管理職に対する研修の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新任所属長研修において、所属職員の人材育成およびマネジメント能力等の向上を図る研修を実施した。 開催日：令和2年5月29日(金)～令和2年12月18日(金) 参加者数：102名(e-ラーニング) 	<p>総務部人事課</p>
<p>職員研修の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重の視点に立った行政の推進を図るため、本庁職員を対象に、10月～11月にかけて動画視聴により人権研修を実施した。 研修会参加者数：2,658名 	<p>総務部行財政改革推進課、環境生活部人権課</p>

3 市町等への働きかけ

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
<p>(1) 市町における男女共同参画推進の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市町の取組に活用できる情報の提供等により、市町における男女共同参画の推進を支援した。 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>市町の職員を対象にした研修等の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、市町の職員を対象に出前講座「フレンテトーク」を実施した。 実施回数：10回、参加者数：550名 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>(2) 「三重県女性の参画マップ」の作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「三重県女性の参画マップ」を作成、ホームページで公表し、県内市町の審議会等における女性の参画状況の見える化を図った。 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>「三重県内における男女共同参画施策等の推進状況」の作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・内閣府調査に県独自の調査項目を追加し、市町における施策等の推進状況について、「三重県内における男女共同参画施策等の推進状況」として取りまとめ、ホームページで公開した。 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>(3) フレンテトーク等の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、出前講座「フレンテトーク」等を実施した。 開催回数：54回（フレンテトーク 47回、 ウェルカムフレンテトーク 7回） 参加者数：3,195名 対象：市町、団体、企業等 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>

Ⅱ-Ⅱ 男女共同参画に関する意識の普及と教育の推進

1 男女共同参画に関する広報・啓発の充実

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
(1) 報道機関への情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 報道機関に対して、県の男女共同参画等に関する事業について積極的に情報提供を行った。 報道機関への情報提供数：82件 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
県民への啓発とニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、事業を通して7,695名の参加があり、男女共同参画について啓発するとともに、アンケート等によりニーズの把握に努めた。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
教材の提供	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、啓発パネル「第5次男女共同参画基本計画」を作成し、これまでに作成したパネルもあわせて貸出を行った。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
「男女共同参画週間」における広報	<ul style="list-style-type: none"> 「男女共同参画週間（6月23日～29日）」について、三重県総合文化センター男女共同参画棟のエントランスホールにおいて、6月末までの期間、同週間にちなんだパネル展示を実施した。また同週間中は、県庁において、庁内放送による啓発もあわせて実施した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
「女性に対する暴力をなくす運動」期間における啓発	<ul style="list-style-type: none"> 「女性に対する暴力をなくす運動（11月12日～25日）」期間にあわせて、男女共同参画センター「フレンテみえ」との共催で「女性に対する暴力防止セミナー」を開催した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
差別をなくす強調月間	<ul style="list-style-type: none"> 「差別をなくす強調月間（11月11日～12月10日）」にテレビスポットを放映、街頭啓発を実施した。 	環境生活部人権センター
県の広報・出版物への男女共同参画視点の導入	<ul style="list-style-type: none"> 県の広報・出版物について、男女共同参画の視点に立った表現となるよう庁内関係課へ助言した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(2) インターネット人権モニター事業	<ul style="list-style-type: none"> インターネット上の差別事象の流布状況の調査研究、モニタリングを実施した。また、インターネット人権ソーシャルウォッチャー養成講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講義の内容を収めたDVDを市町および市町教育委員会に配布し、自主的な研修の実施を進めた。 	環境生活部人権センター
(3) メディア・リテラシーを高める教育	<ul style="list-style-type: none"> 固定的な性別役割分担意識や、メディアにおけるLGBT等当事者の人権侵害につながる表現の問題性について考える人権学習指導資料の活用を促進した。 	教育委員会事務局人権教育課

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
<p>(4) 人権フォトコンテスト</p> <p>人権文化のまちづくり創造事業</p> <p>映画上映等の実施</p> <p>(5) 企業への情報提供・企業の取組紹介</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人権フォトコンテストを実施した。 応募数：180点 ・住民等が主体となった研修会に講師等を派遣した。(実践行動につなげる人権のまちづくり研修支援事業) 研修会等の開催回数：24回 ・男女共同参画を考えるメッセージを発信し、意識を啓発するため、男女共同参画センター「フレンテみえ」と県内市町男女共同参画センターおよび市町と連携して「三重県内男女共同参画連携映画祭2020」を開催した。 開催回数：3回 参加者数：349名 ・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、企業登録制度に登録する企業へ年6回、男女共同参画に関する情報提供を行った。また、「男女共同参画フォーラム～みえの男女(ひと)2021～」で、10企業の取組をパネルで紹介した。 	<p>環境生活部人権センター</p> <p>環境生活部人権課</p> <p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p> <p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>

2 学校等における男女共同参画教育の推進

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
<p>(1) 人権保育専門講座</p> <p>私立学校での人権教育推進</p> <p>教職員向け研修</p> <p>男女共同参画研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士等を対象に人権保育専門講座を実施した。 受講者数：延べ218名 ・人権教育推進担当者の活動の条件整備や、教職員人権教育研修および人権教育推進協議会等の運営、人権を考える児童・生徒の集いなどの事業を推進する私立学校に対して、その経費の一部を助成した。 助成学校数：15校 ・講師を招聘し、男女共同参画に係る講義や質疑応答形式等により研修を深めた。 ・各学校において文部科学省や県教育委員会が作成したリーフレット、DVD等や、校外の研修会資料を活用し、研修を実施した。 ・学校において、男女共同参画社会に関わる学習が推進されるよう、人権学習指導資料に掲載されている具体的な取組について研修を実施した。 ・インターネットを活用した研修（「ネットDE研修」）において、県内の教職員を対象に男女共同参画に関する研修を実施した。 4講座 受講者数：64名 	<p>子ども・福祉部少子化対策課</p> <p>環境生活部私学課</p> <p>教育委員会事務局高校教育課、小中学校教育課</p> <p>教育委員会事務局人権教育課</p> <p>教育委員会事務局研修推進課</p>
<p>(2) 人権学習指導資料等の活用促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の社会づくりに関する学習展開例等を掲載した人権学習指導資料の授業等での活用を促進した。 	<p>教育委員会事務局人権教育課</p>
<p>(3) 取組状況調査</p> <p>高等学校教育での推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画に係る取組状況調査を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ○男女共同参画に係る校（園）内研修を実施している学校（幼稚園を含む）の割合 26校／57校→45.6%（県立高等学校） 18校／18校→100%（特別支援学校） 84.0%（公立小中学校および園） ○教科等に男女共同参画の視点を位置づけて指導した学校（幼稚園を含む）の割合 100%（県立高等学校） 100%（特別支援学校） 98.0%（公立小中学校および園） ・家庭科では男女が協力して家庭を築くことの認識について、公民科では職業生活や社会参加における男女共同参画について、それぞれ学習を進めた。 	<p>教育委員会事務局高校教育課、小中学校教育課、特別支援教育課</p> <p>教育委員会事務局高校教育課</p>

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
<p>(4) 保護者等と連携した研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各学校において、研修の充実を図るとともに、PTAや人権ネットなどとの共催により、保護者や地域等に男女共同参画についての意識を高める取組を実施した。 	<p>教育委員会事務局 高校教育課、小中学校教育課、特別支援教育課</p>
<p>(5) 学校における人権教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校における研修実施の支援や人権学習指導資料の活用を促進する研修を通して、性的指向・性自認に係る人権課題の解決に向けた取組について教職員に説明を行った。 	<p>教育委員会事務局 人権教育課</p>
<p>(6) 高等学校教育での推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間や特別活動を中心に、生徒のキャリア発達を促し、生徒自身の適性や将来設計に基づいた主体的な進路選択の在り方について学習を進めた。 	<p>教育委員会事務局 高校教育課</p>
<p>(6) 高等学校教育での推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 社会人講師や卒業生等、外部人材の活用を推進し、小学生から高校生まで発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育の充実を図った。 	<p>教育委員会事務局 高校教育課、小中学校教育課、特別支援教育課</p>
<p>(7) 高等学校教育での推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 女子中高生が理系進路の魅力を知り、理系に進もうという意思を高めることを目指した「女子中高生夏の学校～科学・技術・人との出会い～」(独立行政法人国立女性教育会館主催)について、令和2年度は開催されず周知できなかったが、県立高等学校における女子生徒の理数系高等教育機関への進学予定者数は増加した。 令和元年度 1,145名→令和2年度 1,186名 	<p>教育委員会事務局 高校教育課</p>

3 生涯を通じた学習機会の充実

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
(1) 社会教育推進のための研修	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員、社会教育主事など社会教育に関わる職員や団体の指導者等に対する研修会を実施した。 開催回数：16回、参加者数：555名 	教育委員会事務局社会教育・文化財保護課
(2) 地域で活躍できる人材育成講座	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、男女共同参画の視点を持った人材を育成する講座を開催した。 〈種まきプロジェクト“地域”編〉 「女性の想いをカタチに。ススム、変わる！」 参加者数：延べ39名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
地域人権啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域防災総合事務所・地域活性化局が中心となってミニ人権講座、行政機関等のトップセミナー、講演会などを実施した。 参加者数：1,102名 	環境生活部人権センター
(3) 女性一人ひとりの力を引き出す講座	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、女性一人ひとりの力を引き出す講座を実施した。 〈自己尊重感を高める講座〉 「娘から見た母・母との関係」 参加者数：延べ67名 「オトナの女性の性講座～人生後半の性生活～」 参加者数：12名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

4 国際的な動きへの対応と活動支援

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
<p>(1) UN Women（国連女性機関）と連携した「HeForShe」の趣旨の浸透</p>	<p>・UN Women（国連女性機関）が展開する「HeForShe」（女性の地位向上に男性の参加を呼びかける社会連帯運動）の趣旨の浸透を図るため、社内の「仕組み」を変えることで「行動」が変わり女性の活躍につながった取組事例を公募・顕彰する「チェンジ・デザイン・アワード2021」を実施した。</p>	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>(2) 多文化共生啓発事業</p>	<p>・国際交流団体、行政等のさまざまな主体と連携して、多文化共生社会づくりに向けた啓発イベントを企画・実施した。 多文化共生理解イベント「Hand in Hand 2020 妄想旅行 島しょ国編」 参加者数：27名</p> <p>※この他、伊勢市国際交流フェスティバルへのブース出展を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントがオンラインセミナーに変更された。</p>	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>多文化共生社会実現への取組</p>	<p>・外国人住民の地域社会への参加・参画を進めるため、外国人住民が生活していく上で必要となる基本的な生活・行政情報および外国人住民に知っておいてほしい情報等を多言語ホームページ（ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、中国語、英語、ベトナム語、日本語）で、外国人住民のニーズに合った形で迅速に提供（ビデオ情報1件、文字情報70件）した。</p>	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>

Ⅲ 男女が安心して暮らせる環境の実現
 Ⅲ-I 家庭・地域における男女共同参画の推進

1 家庭、地域、職場におけるバランスのとれた生活への支援

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
(1) 家庭の日の取組	・関係機関と連携し、家庭の日の啓発等を行った。	子ども・福祉部少子化対策課
(2) ワーク・ライフ・バランスを考える 機会の提供	・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、ワーク・ライフ・バランスをテーマにした出前講座「フレンテトーク」を実施した。 実施回数：2回、参加者数：228名	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(3) 貸付制度の運用	・育児・介護休業取得者に対する貸付制度を運用した。	雇用経済部雇用対策課
(4) 認知症に関する相談窓口の設置	・三重県認知症コールセンターを設置した。 相談件数：447件	医療保健部長寿介護課

2 地域活動における男女共同参画の促進

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
<p>(1) 自治会等の取組への支援</p>	<p>・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、自治会等からの相談を受け、それぞれに合ったテーマの出前講座「フレンテトーク」を実施した。 実施回数：1回、参加者数：20名</p>	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>(2) 県民と連携・協働した男女共同参画推進の取組</p>	<p>・例年、男女共同参画センター「フレンテみえ」において、「フレンテまつり」で県民と連携・協働した事業を開催し、男女共同参画に関する理解の促進や意識の普及を図っていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。</p>	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>多様な環境教育の場や機会の提供</p>	<p>・環境分野の取組に男女が共に参画できるよう、環境学習情報センターを拠点に、環境講座、体験学習、環境学習指導者の養成等を実施した。 参加者数：13,750名</p>	<p>環境生活部地球温暖化対策課</p>
<p>男女共同参画の視点をふまえ多様な主体と連携した観光振興施策の展開</p>	<p>・平成28年3月に立ち上げた行政機関、観光関係団体、交通事業者や農林商工業関係団体等で構成する「みえ観光の産業化推進委員会」において、「観光の産業化」の推進、日本版DMOに対する支援、戦略的な観光宣伝活動等に取り組んだ。</p>	<p>雇用経済部観光魅力創造課</p>
<p>(3) みえ次世代育成応援ネットワーク事業の拡充</p>	<p>・次世代育成支援の具体的な取組を進めるため、みえ次世代育成応援ネットワークの会員企業・団体の拡大を図った。 会員数：1,584企業・団体（令和3年3月31日現在）</p> <p>・11月の「子ども虐待防止啓発強化月間」にあわせて、みえこどもの城において啓発イベントを行った。</p>	<p>子ども・福祉部少子化対策課</p>

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
<p>(4) ボランティア活動の促進</p> <p>情報誌の発行・ネットワーク化の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県ボランティアセンターにおいて、ボランティア活動に関する情報提供およびボランティアコーディネーター養成研修を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> 〈ボランティアセンターメールマガジンの配信〉 登録者数：290名 配信回数：9回 〈養成研修〉 1. 「ボランティア概論」 2. 「ボランティアコーディネーション概論」 3. 「オンラインファシリテーション・基礎」 4. 「オンラインファシリテーション・実践ステップ1」 5. 「オンラインファシリテーション・実践ステップ2」 上記5つの研修を受け、養成した人数：11名 (上記講座の延べ受講者数：131名) ・ 市民活動・ボランティアニュースを発行（年4回）するとともに、NPO等の活動やネットワーク化の支援を行った。 ・ 中間支援組織と連携し、コロナ禍だからこそ、NPOがつながりをつくり、課題解決に資する提案を検討して発表するため、三重NPOグランプリや協創シンポジウムを開催するなど、NPO活動の展開を図るとともに、団体間のネットワーク化の促進に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 三重NPOグランプリ <ul style="list-style-type: none"> 開催日：令和2年12月5日（土） 開催場所：アスト津3階 みえ県民交流センター 参加者数：33名 ○ 協創シンポジウム <ul style="list-style-type: none"> 開催日：令和3年2月11日（木・祝） 開催場所：アスト津3階 みえ県民交流センター 参加者数：29名 	<p>子ども・福祉部地域福祉課</p> <p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>

3 男女共同参画の視点に立った防災活動の推進

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
<p>(1) 防災分野での政策・方針決定過程への女性参画拡大、防災関連計画への男女共同参画視点の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・三重県防災会議の女性委員数の増加に向けて、委員の任期満了に伴い新たな委員の就任を依頼する際、知事名による依頼通知に次の一文を掲載した。 「三重県では、県の附属機関への委員の選任に当たり男女の委員構成が均衡のとれたものとなるよう要綱を定め、取り組んでいます。このたびの貴機関からの委員推薦にあたっては、肩書き等にこだわらず女性を積極的に推薦していただきますよう、よろしくお願ひします。」 ・令和2年度に新たに4名の女性委員に就任いただき、委員64名中8名が女性となった。 	<p>防災対策部防災企画・地域支援課</p>
<p>(2) 消防団活性化促進事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員としての資質向上を図るとともに、消防団の活動事例の共有や討論を通して、消防団活動に対する意識向上を図るため、今後消防団を担うことが期待される青年・女性消防団員に対する研修を県内6か所に分散して開催した。 参加者数：6会場合計172名、うち女性消防団員124名 	<p>防災対策部消防・保安課</p>
<p>自主防災組織リーダーの育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の自主防災組織の中核を担う人材が、防災に関する基礎知識や消防団との連携をはじめ、男女共同参画の視点等組織の運営に必要な知識を身につけることにより、地域防災力を向上させることを目的として「自主防災組織リーダー研修」を開催した。 受講者数(延べ人数)：松阪会場59名 	<p>防災対策部防災企画・地域支援課</p>
<p>(3) 「避難所運営マニュアル策定指針」の水平展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営や、避難所における障がい者、外国人への配慮等について記載した「三重県避難所運営マニュアル策定指針」を改訂し、「女性への配慮」の項を設けて避難所において女性への配慮が必要な項目等をまとめて掲載するよう修正を行った。 また、各市町を訪問して改訂した「三重県避難所運営マニュアル策定指針」の内容を説明することにより周知を図った。 	<p>防災対策部防災企画・地域支援課</p>
<p>(4) 女性防災人材の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「三重県・三重大学 みえ防災・減災センター」の人材育成事業において、市町および地域、企業の防災対策における意思決定や防災、災害時の活動を担い得る女性防災人材の育成を図った。令和2年度は、これまでに育成した専門職を持つ防災人材を対象に、オンラインによるフォローアップ防災研修を実施した。 【講座概要】 〈女性を中心とした専門職防災研修〉 令和2年12月5日(土)および13日(日)の2回開催 受講者数：延べ89名(うち女性60名) 	<p>防災対策部防災企画・地域支援課</p>

Ⅲ-Ⅱ 生涯を通じた男女の健康と生活の支援

1 生涯にわたる健康の管理・保持・増進の支援

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
<p>(1) 健康づくりへの取組推進</p> <p>地域での取組実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりを推進する企業、関係機関・団体、市町等の103団体で構成する「三重とこわか県民健康会議」を設置して健康づくりの気運の醸成を図るとともに、「三重とこわか健康経営カンパニー」認定制度や「三重とこわか健康経営大賞」を通じて企業における健康経営の取組を促進した。 「三重とこわか健康経営カンパニー」認定企業：127社 9月の健康増進普及月間や9月7日の県民健康の日にあわせて、県民健康の日記念イベントの開催、県立図書館でのポスター掲示やパンフレットの配布を行うとともに、各地域で講演会や研修会を開催する等の健康づくりの啓発を行った。 「健康野菜たっぷり料理グランプリ」を開催し、野菜への関心を高め、今より多く野菜料理を食べることの啓発を行った。また、40～50歳代女性を対象にした糖尿病予防事業として、関係団体と連携し、アンケート調査をふまえて作成した啓発チラシを配布した。 「健康野菜たっぷり料理グランプリ」応募作品数：280点 糖尿病予防啓発のためのチラシ配布：1,000部 「いい歯の日(11月8日)」および「8020推進月間(11月)」にあわせて、啓発チラシ・歯ブラシを配布し、歯科口腔保健の重要性の啓発を行った。 	<p>医療保健部健康推進課</p> <p>医療保健部健康推進課</p>
<p>みえの健康指標の策定</p>	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり事業を進める上で重要な保健医療情報である「みえの健康指標」を県のホームページに掲載した。 	<p>医療保健部健康推進課</p>
<p>(2) がん検診受診率向上に向けた取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> 乳がん、子宮頸がん等のがん検診受診率向上を図るため、がん征圧月間である9月に図書館で啓発展示を行った他、企業やNPOと連携して、啓発リーフレットの配布を行った。 	<p>医療保健部医療政策課</p>
<p>(3) 医療機関情報の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> 三重県広域災害・救急医療情報システム「医療ネットみえ」により、県内医療機関情報を提供した。 令和2年度「医療ネットみえ」アクセス件数：742,703件 	<p>医療保健部医療政策課</p>
<p>(4) 自殺対策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自殺対策強化月間および自殺予防週間にあわせてポスター展示やパンフレットの配布を行った。また市町担当者等の人材育成研修を実施するとともに、自殺予防電話相談の対応時間を拡充するなど相談体制の強化を図った。 	<p>医療保健部健康推進課</p>

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
(5) 総合型地域スポーツクラブの育成支援	・総合型地域スポーツクラブの育成支援を実施した。 令和3年3月31日現在のクラブ数：27市町66クラブ	地域連携部スポーツ推進課
みえスポーツフェスティバルの開催	・県民に幅広いスポーツ・レクリエーション活動を実践する場をつくり、スポーツ・レクリエーション活動の普及・振興を図るため、「みえスポーツフェスティバル」を開催した。 令和2年度参加者数：7,118名	地域連携部スポーツ推進課
県立学校体育施設の一般開放	・県立学校において施設を一般に開放した。 開放校数：45校 利用件数：3,604件 利用者数：47,104名	教育委員会事務局保健体育課

2 性と生殖に関する健康支援の充実

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
<p>(1) 思春期健康支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各保健所で思春期のこころと身体に関する電話相談を実施するとともに、学校等関係機関と協議し、健康教育を実施した。 SNSによる「三重県DV・妊娠SOS・性暴力相談」の窓口を開設した。 実施期間：令和2年6月1日～令和3年3月31日 	<p>子ども・福祉部子育て支援課</p>
<p>(2) 性に関する指導支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> 県立学校に産婦人科医や助産師等の専門家を派遣し、学校や生徒の実態に応じ、性に関する課題解決のための講話や講演等を行った。 派遣回数：5回 	<p>教育委員会事務局保健体育課</p>
<p>(3) 母子保健支援者育成事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各市町の母子保健体制の核となる人材として「母子保健コーディネーター」の育成を行った。 育成数：25名（累計194名） 	<p>子ども・福祉部子育て支援課</p>
<p>周産期医療体制の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> 総合周産期母子医療センター2か所と、地域周産期母子医療センター3か所を中核に周産期医療を提供した。 	<p>医療保健部医療政策課</p>
<p>(4) 不妊専門相談センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「不妊専門相談センター」において不妊に関する電話相談を実施した。 相談件数：197件 	<p>子ども・福祉部子育て支援課</p>
<p>不妊相談検討会</p>	<ul style="list-style-type: none"> 不妊に関する各分野の代表で構成する「不妊相談検討会」において、不妊相談の効果的な実施および今後のあり方について検討するとともに、関係諸機関とも協議を重ね円滑な連携に努めた。 検討会実施回数：1回 	<p>子ども・福祉部子育て支援課</p>
<p>特定不妊治療費助成事業の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> 特定不妊治療（体外受精・顕微授精）を受けた夫婦に対してその費用の一部を助成した。 助成件数：2,255件 	<p>子ども・福祉部子育て支援課</p>
<p>(5) へき地等で勤務する医師および小児科、産婦人科などの医師確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> 三重県医師修学資金貸与制度の運用を通じて、小児科、産婦人科など医師の不足する診療科の医師およびへき地等で勤務する医師の確保に努めた。 新規修学資金貸与者：45名 	<p>医療保健部医療介護人材課</p>
<p>看護職員の確保および定着促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 看護学生に対する修学資金の貸与等により看護職員の確保に努めるとともに、院内保育所の設置支援、新卒看護職員研修会の開催など、看護職員の定着促進の取組を進めた。 看護師等修学資金新規貸与者数：25名 新卒看護職員研修会の開催：6回 新卒助産師研修会の開催：4回 	<p>医療保健部医療介護人材課</p>

3 自立のための生活支援

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
(1) 在宅障がい児 (者)支援	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅の障がい児(者)を支援し、介護者の負担軽減を図るため、居宅介護、生活介護、短期入所、児童発達支援、放課後等デイサービス等の経費を支給した市町に対し費用の一部を負担した。 	子ども・福祉部障がい福祉課
障がい者の環境改善支援	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の地域移行を進めるため、グループホームや日中活動の場の整備に取り組むとともに、重度障がい者等が円滑に地域移行できるよう生活支援を行った。 	子ども・福祉部障がい福祉課
障がい者の就労支援	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者総合支援法に基づく就労移行支援事業所等を指定した。 就労移行支援事業所：1か所 就労継続支援A型事業所：2か所 就労継続支援B型事業所：16か所 	子ども・福祉部障がい福祉課
広域的・専門的な障がい者の相談支援	<ul style="list-style-type: none"> ・県内9障害保健福祉圏域に設置されている広域的な相談支援窓口において相談支援を実施した。 相談登録者数：8,964名(令和3年3月31日現在) また、自閉症・発達障がい、高次脳機能障がい、重症心身障がいに関する高度で専門的な相談支援を実施した。 	子ども・福祉部障がい福祉課
障がい者の就労支援	<ul style="list-style-type: none"> ・共同受注窓口事業により事業所等の受注の機会を確保するなど工賃等向上を図り、障がい者の就労を支援した。 例年実施している県庁舎における職場実習事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 	子ども・福祉部障がい福祉課
障がい者の環境改善支援	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅の重度障がい者(児)に対し、浴槽、特殊寝台などの日常生活用具の給付事業を実施する市町に補助を行った。 	子ども・福祉部障がい福祉課
障がい者に対する職業訓練の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の就職を促進するため、就業を目的とした職業訓練を委託実施し、職業訓練の機会を提供した。 受講者数：51名(うち前年度からの繰越11名) ・身体障がい者を対象にOA事務等に関する職業訓練を実施し、就業を支援した。 受講者数：5名 	雇用経済部雇用対策課

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
早期からの一貫した教育支援体制整備	<ul style="list-style-type: none"> 障がいのある子どもたちへの支援が早期から行われ、学校間で支援情報が引き継がれるよう、小中学校におけるパーソナルファイルの活用状況を把握し、市町教育委員会と連携して、学校へ活用を働きかけた。 特別支援学級においてパーソナルファイルを活用している小中学校の割合：97.2% 	教育委員会事務局特別支援教育課
特別支援学校卒業生の就労支援	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校の生徒が企業へ就労できるよう、生徒本人に適した職種・業務と必要な支援の方法を企業に提案する形の職場開拓を行った。 ○外部人材として、特別支援学校にキャリア教育サポーター（4名）を配置 ○企業訪問数（1,366回） ○就労支援会議（5回） ○特別支援学校高等部生徒の一般企業就職希望者就職率（100%） 	教育委員会事務局特別支援教育課
(2) 高齢者の雇用促進	<ul style="list-style-type: none"> シルバー人材センターの機能充実に向けた支援に取り組むとともに、関係機関と連携し、就職面接会を県内で3回開催するなど、高齢者の雇用促進を図った。 参加者数：123名 	雇用経済部雇用対策課
おしごと広場みえ運営事業	<ul style="list-style-type: none"> 若年者に対し、職業相談、職業紹介等のサービスをワンストップで提供した。 利用者数：9,301名 	雇用経済部雇用対策課
(3) 母子・父子自立支援員の配置	<ul style="list-style-type: none"> 母子・父子自立支援員を各福祉事務所に配置し、母子父子家庭および寡婦等からの相談に応じ、自立に必要な支援を実施した。 	子ども・福祉部子育て支援課
資金の貸付	<ul style="list-style-type: none"> 母子家庭の母、父子家庭の父および寡婦等に対し、経済的安定と生活意欲の助長を図るとともに、扶養している児童の福祉を増進するため、資金の貸付を実施した。 貸付件数：254件 	子ども・福祉部子育て支援課
家庭生活支援員の派遣	<ul style="list-style-type: none"> 修学等自立促進に必要な事由、疾病等の事由により一時的に生活援助、保育等のサービスが必要であったり、あるいは生活環境の激変により日常生活を営むのに支障が生じているひとり親家庭等に対して、家庭生活支援員の派遣を実施する市町を支援した。 	子ども・福祉部子育て支援課
ひとり親家庭の自立支援	<ul style="list-style-type: none"> 「ひとり親家庭等自立促進計画」に基づいて、母子・父子家庭に対する相談支援体制、医療費の助成などの経済的支援策、養育費の確保策等の総合的な生活支援を推進し、ひとり親家庭等の自立を支援した。 	医療保健部国民健康保険課、子ども・福祉部子育て支援課

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
生活困窮者への相談支援・就労支援	<ul style="list-style-type: none"> 三重県生活相談支援センターにおいて、生活困窮者への相談支援を行うとともに、就労支援を行った。 新規相談件数：541件 活動・電話相談延べ回数：1,516回 就労者数：26名 	子ども・福祉部地域福祉課
住居確保給付金の支給	<ul style="list-style-type: none"> 離職等により経済的に困窮し、住居喪失者又は住居喪失のおそれのある者で収入・資産など一定の要件を満たす者について、住居確保給付金の支給を行った。 支給件数：44件 	子ども・福祉部地域福祉課
県営住宅の優先募集	<ul style="list-style-type: none"> 母子・父子世帯、DV被害者、高齢者世帯等の生活の安定のため、県営住宅の入居抽選にあたって、優先的取扱いを行った。令和2年度は35戸の優先入居を行った。 	県土整備部住宅政策課
(4) 高齢者の活動支援	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が健康で生きがいを持った生活を送るため、ボランティア活動などの地域貢献活動を行う老人クラブおよび県・市町老人クラブ連合会の活動を支援した。 助成対象老人クラブ数：1,420か所 	医療保健部長寿介護課
(5) ひきこもる若者の自立支援	<ul style="list-style-type: none"> ひきこもりの予防や長期化の防止に向け、専門相談や家族教室の実施、関係機関職員の研修会を開催した。また、関係機関支援ネットワークの構築に取り組んだ。 支援者スキルアップ研修会：2回 講演会：1回 	医療保健部健康推進課
児童養護施設入所児童等への相談援助	<ul style="list-style-type: none"> 児童養護施設入所児童に対し、児童相談所と施設が協議しながら自立支援の視点に立った指導の充実を図った。 児童養護施設、母子生活支援施設等に心理療法職員を配置し、入所児童等の心のケアを行った。 	子ども・福祉部子育て支援課
若年無業者等の自立支援	<ul style="list-style-type: none"> 若年無業者等を対象に、NPO等が運営する地域若者サポートステーション（県内4か所）を活用し、就労体験事業や社会体験事業等を実施した。 新規登録者数：376名 	雇用経済部雇用対策課

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
<p>(6) 多様な性に関する理解の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・性の多様性に関するさまざまな悩みに対応できる相談人材を育成するため「LGBT相談員育成講座」を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ○ベーシックコース（基礎知識の習得） 開催日：令和2年9月20日（日）、27日（日）、10月11日（日）、11月15日（日） 参加者数：23名 ○アドバンストコース（カウンセリングを実践形式で学習） 開催日：令和2年12月19日（土）、20日（日）、令和3年1月9日（土）、10日（日） 参加者数：14名 ・令和2年度性の多様性について知るトークイベント “国内外でアワードに輝いた名作漫画『弟の夫』に見る「アライになるということ」”を実施した。 開催日：令和3年1月19日（火） オンライン開催 参加者数：113名 <ul style="list-style-type: none"> ・「弟の夫」作者の田亀源五郎氏と、ドラァグクィーンのエスムラルダ氏のトークセッション ・作品の内容紹介 ・田亀氏へのインタビュー ・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、LGBTをテーマにした出前講座「フレンテトーク」を実施した。 実施回数：6回、参加者数：362名 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>

4 自立を促進する環境の整備

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
<p>(1) バリアフリー化の推進</p> <p>各地域庁舎以外の県有施設での「三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例」整備基準による対策</p> <p>居住安定に向けた支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既設県営住宅のバリアフリー化のため、笹川団地において高齢者仕様の住戸改善工事を行った。 ・住宅相談窓口担当者等講習会を1回開催し、市町のリフォーム相談担当者のスキルアップを図った。 ・施設管理者と調整するとともに、条例の規定による手続きを行い、整備基準に適合する施設整備を行った。また、手続きが不要な場合であっても、整備基準を参考に施設整備を行った。 ・高齢者向け、子育て世帯向けの優良な賃貸住宅に係るセーフティネット制度等について、不動産団体等に対して、訪問、または研修会等の場でPRを行った。 ・市町に対しては、三重県地域住宅協議会を2回開催し、国からの情報提供や市町居住支援協議会設立に向けた説明を行った。 	<p>県土整備部住宅政策課</p> <p>県土整備部営繕課</p> <p>県土整備部住宅政策課</p>
<p>(2) バリアフリー観光の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設等のバリアフリー調査およびアドバイスを8施設で実施するとともに、バリアフリー観光の受入態勢に対する実践的な対応研修を北勢地域、東紀州地域で計4回実施した。 	<p>雇用経済部観光政策課</p>
<p>(3) 県立学校施設整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県立学校のバリアフリー化推進のため、手すりの設置(4校)、スロープ設置(3校)、階段昇降機の設置(1校)、トイレ改修(1校、段差解消・手すり設置等を含む)等を実施した。 	<p>教育委員会事務局学校経理・施設課</p>
<p>(4) 地域で育むユニバーサルデザイン学校出前授業の実施</p> <p>「三重おもいやり駐車場利用証制度」の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの意識づくりを進めるため、さまざまな主体と連携し、次世代を担う子どもたちに対し学校出前授業を実施した。 対象校：小・中・高等学校 開催数：12校 参加者数：704名 ・身体に障がいのある方や妊産婦などで、歩行が困難な方の外出を支援するため、公共施設や商業施設などにある「おもいやり駐車場」の利用証を交付する「三重おもいやり駐車場利用証制度」の普及啓発を実施した。 利用証交付者数：95,861名（うち妊産婦36,904名） （令和2年12月31日までの累計） 「おもいやり駐車場」登録届出数：2,180施設 4,423区画 （令和3年3月31日現在） 	<p>子ども・福祉部地域福祉課</p> <p>子ども・福祉部地域福祉課</p>

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
(5) 託児サービスの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「男女共同参画フォーラム～みえの男女（ひと）2021～」等の主催イベントにおいて、託児サービスを実施し、誰もが参加しやすいよう配慮した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(6) ライフプラン、生活設計等についての情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・金融広報委員会と共催するなど、ライフプラン、生活設計等について情報提供するとともに、消費者被害の防止に向けた普及啓発を行う講座等を5回実施した。 参加者：延べ68名 ・消費者トラブル等に関する情報提供については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、県ホームページをはじめ、TVやFMラジオ、新聞、地域情報誌、SNS等各種メディアを活用し、非接触型の情報提供を実施した。 	環境生活部くらし・交通安全課
(7) 多文化共生社会実現への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・医療通訳を育成するための研修を実施するとともに、医療機関に対し、電話医療通訳利用の機会を提供した。 研修受講者 即戦力養成編（ポルトガル語、ベトナム語、中国語、フィリピン語、スペイン語）4回、参加者数延べ133名 ・災害時に外国人住民への支援活動を行う「災害時語学サポーター養成研修」（参加者数延べ122名）を開催したほか、図上訓練を実施した（参加者数29名）。 ・外国人住民の消費者被害防止のための研修会を開催（参加者数105名）した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

Ⅲ-Ⅲ 男女共同参画を阻害する暴力等への取組

1 関係機関の連携による支援体制等の整備

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
(1) 相談機関ネットワーク会議の開催など	<ul style="list-style-type: none"> 県内の相談機関により構成される「三重県犯罪被害者支援連絡協議会」の会員に対して、各会員における取組内容をまとめた資料を送付し、情報共有を図った。 	警察本部警務部警務課
(2) 民間の被害者支援団体と連携した支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> 犯罪被害者支援のための民間団体「公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター」と連携し、被害者やその家族に対する支援業務を推進するとともに、各種会議、研修会を通じて関係機関・団体との意見交換を実施した。 	警察本部警務部警務課
三重県犯罪被害者等支援推進計画の推進	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年3月に制定した「三重県犯罪被害者等支援条例」および、令和元年12月に策定した「三重県犯罪被害者等支援推進計画」に基づき、支援を行う際のポイントや留意点等をまとめた「三重県犯罪被害者等支援ハンドブック」を作成し、市町職員等に配布した。 	環境生活部くらし・交通安全課
三重県犯罪被害者等見舞金の給付	<ul style="list-style-type: none"> 「三重県犯罪被害者等支援条例」をふまえて創設した三重県犯罪被害者等見舞金制度に基づき、遺族見舞金2件、重傷病見舞金4件、精神療養見舞金2件を給付した。 	環境生活部くらし・交通安全課
(3) 女性に対する暴力防止セミナーと啓発の実施	<ul style="list-style-type: none"> 県民に向けた啓発事業として、「女性に対する暴力防止セミナー」を実施した。 開催日：令和2年11月23日（月・祝） 内容：「ワタシがこの子をたたくワケ～DVと虐待～」 講師：信田 さよ子 さん 参加者数：93名 「女性に対する暴力をなくす運動」期間に内閣府の呼びかけで行われる「パープル・ライトアップ」を実施した。同時に県内市町男女共同参画センター、市町へ啓発を呼びかけた。 開催日：令和2年11月7日（土）～25日（水） 参加者数：51名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
相談窓口や各種支援制度に関する情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 各種広報誌やポスター・パンフレットのほか、インターネット（SNS）など、さまざまな媒体を活用して相談窓口の利用促進や各種支援制度に関する情報提供を行った。 	子ども・福祉部子育て支援課、環境生活部ダイバーシティ社会推進課、くらし・交通安全課
広報啓発活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 「犯罪被害者週間(11月25日～12月1日)」をはじめ、下記集い等さまざまな機会を通じた広報・啓発活動を推進した。 〈犯罪被害者支援を考える集い〉 開催日：令和2年11月28日（土） 場所：桑名市 	警察本部警務部警務課
広報啓発活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 「女性に対する暴力をなくす運動」期間中、県警ホームページおよびツイッターを活用し、ストーカー・DV被害の早期相談等について広く県民に広報したほか、交番・駐在所の広報紙を活用して相談窓口を紹介するなど、広報啓発活動を実施した。 	警察本部生活安全部人身安全対策課

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
(4) アンケート調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> 女性に対する暴力防止セミナーで参加者アンケートを実施し、DVに関する現状把握に努めた。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(5) 二次被害の防止	<ul style="list-style-type: none"> 被害者支援要員や捜査員に対し、各種専科教養・巡回業務指導等において、犯罪被害者等の立場や二次被害の実例などを踏まえた教養を実施し、二次被害防止に対する意識の向上に努めた。 	警察本部警務部警務課
みえ地域人権相談ネットワーク構築事業	<ul style="list-style-type: none"> 県内NPOおよび各行政機関等の相談員による相談体制の充実ならびに民間・行政のコーディネート体制を充実し、人権に配慮した相談体制の充実が図れるよう、研修会を開催した。 12講座開催、参加者数：575名 	環境生活部人権センター
(6) 加害者への対応・被害者保護	<ul style="list-style-type: none"> 加害者への対応として、検挙等の措置を講じたほか、被害者保護として、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」に基づく援助等の行政措置を実施した。 傷害等での検挙：86件 法に基づく援助措置：296件 (令和2年中) 	警察本部生活安全部 人身安全対策課
(7) 加害者更正プログラムに係る情報把握	<ul style="list-style-type: none"> 国および他都道府県の動向の把握に努めた。 	子ども・福祉部子育て支援課
(8) 人権センターでの相談	<ul style="list-style-type: none"> 人権センターにおいて、セクシュアル・ハラスメントの問題を含む、さまざまな人権問題についての相談に対応するため、相談窓口を設置し、電話や面接による相談を実施した。 	環境生活部人権センター
人権相談ネットワーク会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> 18の行政関係相談機関において書面による情報交換を行った。 	環境生活部人権センター
(9) 教職員対象の研修	<ul style="list-style-type: none"> 初任者等がワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）についての理解を深めるため、男女共同参画に関する研修講座をインターネットを活用した「ネットDE研修」で配信した。 	教育委員会事務局研修推進課
児童生徒・教職員等対象の教育相談	<ul style="list-style-type: none"> 総合教育センターにおいて、児童生徒や教職員、保護者を対象としたセクシュアル・ハラスメントに関する電話相談窓口を運営した。 	教育委員会事務局研修企画・支援課

2 配偶者等からの暴力の防止に係る対策の推進

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
<p>(1) 配偶者暴力相談支援センター事業</p> <p>女性相談員の配置</p> <p>一時保護の実施</p> <p>外国籍DV被害者に対する支援</p> <p>DV防止基本計画の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・女性相談所を配偶者暴力相談支援センターとして位置づけ、関係機関と連携し、総合的な支援を実施するとともに心理判定員や精神科医師などの専門職員による心のケアを実施した。 相談件数：527件 ・SNSを活用した「三重県DV・妊娠SOS・性暴力相談」を実施した。 実施期間：令和2年6月1日～令和3年3月31日 ・女性相談所、各福祉事務所に女性相談員を8名配置し、身近に相談できる体制を整備した。 ・一時保護を実施するとともに、母子生活支援施設等へ一時保護を委託した。 一時保護実施人数：実人員46名（本人） 施設等への一時保護委託人数：実人員23名（本人） ・女性相談所において電話通訳を利用するなど外国籍DV被害者への迅速な相談支援を行った。 ・平成18年3月に策定した「三重県DV防止及び被害者保護・支援基本計画」（令和2年3月改定）に基づき、取組を実施した。 (取組内容) ○DVチェック・相談機関案内を記載した啓発物品（ポケットティッシュ）を配布 ポケットティッシュ：10,000個（窓口設置等） ○街頭啓発活動：県内33か所 	<p>子ども・福祉部子育て支援課</p> <p>子ども・福祉部子育て支援課</p> <p>子ども・福祉部子育て支援課</p> <p>子ども・福祉部子育て支援課</p> <p>子ども・福祉部子育て支援課</p>
<p>(2) DV被害者への自立支援</p> <p>配偶者からの暴力防止等連絡会議を開催</p> <p>地域配偶者等暴力防止会議の設置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・三重県母子・父子福祉センターにおいて、就業相談や職業紹介、資格・技術取得講座開設などの就業支援を実施した。また、各福祉事務所に配置された女性相談員や母子・父子自立支援員が、生活相談や自立に向けた資金貸付などの支援を行った。 ・関係機関相互の情報共有、連携を図るために「配偶者からの暴力防止等連絡会議」を開催した。 [構成機関] 警察本部、地方法務局、家庭裁判所、福祉事務所、母子生活支援施設協議会、医師会、歯科医師会、男女共同参画センター、人権センター等 開催回数：1回 ・地域の関係機関の連携のため、「地域配偶者等暴力防止会議」を開催した。 開催回数：2回 	<p>子ども・福祉部子育て支援課</p> <p>子ども・福祉部子育て支援課</p> <p>子ども・福祉部子育て支援課</p>

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
(3) DV啓発冊子の配布	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」が作成したDV啓発冊子に関係機関に配布した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(4) 県女性相談所と各児童相談所の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> 会議等において情報共有を図るなど連携を強化し、総合的な支援を実施した。 県女性相談所と児童相談所との連携：14件 	子ども・福祉部子育て支援課
関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との情報共有と連携強化のため、県要保護児童対策協議会の各構成団体の取組状況について共有を図った。 医療機関と児童虐待防止等に対する認識や情報の共有化を図るため、県児童虐待対応協力基幹病院連絡会議を開催した。(令和3年3月26日(金)オンライン開催) 妊娠期からの虐待予防に向けて電話相談「妊娠SOSみえ『妊娠レスキューダイヤル』」を実施した。 相談件数：88件 	子ども・福祉部子育て支援課
子どもへの支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 各市町に要保護児童・DV対策地域協議会(市町要対協)を設置し、子ども等への支援体制の整備・強化を図った。市町要対協の運営強化のためのアドバイザーを派遣(9市町・13回)した。 派遣市町数：9市町 派遣回数：13回 ケースマネジメント等について助言・指導を必要とする市町に対しては、助言者(スーパーバイザー)を定期的・継続的に派遣(4市町・14回)した。 派遣市町数：4市町 派遣回数：14回 「三重県社会的養育推進計画」に基づき、児童養護施設の退所児童等の自立支援を行った。 	子ども・福祉部子育て支援課
児童相談所との合同訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> 児童相談センター、児童相談所と警察との連携を強化し、児童虐待事案に適切に対応するため、「警察と児童相談所の合同研修」を実施した。 開催回数：3回 参加者数：56名 	警察本部生活安全部 人身安全対策課
(5) 相談員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> 県内の女性相談員等の資質向上を図るため、研修会を開催した。 開催回数：2回 県市福祉事務所等の新任女性相談員に対する研修会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施だが、資料配布のみ実施した。 開催回数：1回 	子ども・福祉部子育て支援課

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
<p>人権センターでの相談</p> <p>配偶者からの暴力防止等連絡会議等への出席</p> <p>(6) デートDVの防止に向けた啓発等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人権センターの人権相談において、DVに関する相談に対応した。 対応件数：3件 ・例年、「配偶者からの暴力防止等連絡会議」等に参加し、関係機関と情報の共有・交換を実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。 ・若年男女間の暴力（いわゆるデートDV）防止に向けた啓発を行うとともに、デートDVに係る相談を受け対応をした。 ・SNSを活用した「三重県DV・妊娠SOS・性暴力相談」を実施した。 実施期間：令和2年6月1日～令和3年3月31日 ・若年男女間の暴力（いわゆるデートDV）防止についての学習展開例を掲載した人権学習指導資料の授業等での活用を促進した。 	<p>環境生活部人権センター</p> <p>警察本部生活安全部 人身安全対策課</p> <p>子ども・福祉部子育て支援課、教育委員会事務局生徒指導課</p> <p>子ども・福祉部子育て支援課</p> <p>教育委員会事務局人権教育課</p>

3 性犯罪、性暴力、ストーカー対策等の推進

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
<p>(1) 担当者の資質向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 犯罪被害者支援および安全相談を担当する警察職員を対象に、資質向上のための研修を実施した。 実施回数：9回 受講者数：192名 犯罪被害者支援要員（283名）による犯罪被害者支援運用件数：211件 ・ 犯罪被害者支援の専門知識・技術の習得のため、三重県産婦人科医会主催の研修会等に参加した。 ・ ストーカーおよび配偶者暴力対策を担当する警察職員を対象に、資質向上のための研修を実施した。 実施回数：1回 受講者数：13名 (令和2年中) 	<p>警察本部警務部警務課</p> <p>警察本部警務部警務課</p> <p>警察本部生活安全部 人身安全対策課</p>
<p>(2) 性犯罪・性暴力被害者支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合的な支援を行うワンストップ支援センターとして「みえ性暴力被害者支援センター よりこ」を運営し、電話やメール相談・SNS相談・面接・付添い支援等を行い、性暴力被害者が早期に相談をすることで、心身の回復を図ることができるよう、被害者の気持ちに寄り添った支援を行った。 相談件数：623件 ・ 県内短期大学や看護学校等8団体に出前講座を実施するとともに、県内の大学・高校や中学校、スーパー等への広報カードの配布、コンビニ・カラオケ店舗へのステッカー掲示等の広報活動を行った。 ・ SNSを活用した「三重県DV・妊娠SOS・性暴力相談」を新型コロナウイルス感染症緊急対策として実施した。 実施期間：令和2年6月1日～令和3年3月31日 	<p>環境生活部くらし・交通安全課</p>
<p>専門家による相談の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター」と連携するなど、性犯罪被害者、DV被害者、児童虐待被害者等に対する専門家による相談（法律相談・カウンセリング）へつなげた。 法律相談：6件、カウンセリング：18件 	<p>警察本部警務部警務課</p>
<p>性犯罪の認知</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 警察本部および各警察署において、面接相談等を実施した。 性犯罪（強制性交等、強制わいせつ）認知件数：42件 (令和2年中) 	<p>警察本部刑事部捜査第一課</p>
<p>性犯罪被害者への支援活動の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療費等の一部について公費負担制度を活用し、被害者の経済的負担軽減を図った。 公費負担した性犯罪の件数：15件 	<p>警察本部警務部警務課</p>

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
<p>(3) 立入活動の実施</p> <p>子どもや女性の安全確保の取組</p> <p>街頭防犯カメラ等の設置推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 三重県青少年健全育成条例に基づき、立入調査員による書店・コンビニなどへの立入調査活動を実施し、青少年健全育成協力店の登録依頼を行った。 青少年健全育成協力店登録数：925件 (令和3年3月31日現在) 三重県青少年健全育成条例に基づき、警察官、警察少年補導員等が、カラオケボックス、インターネットカフェ、書店、コンビニなどへの立入調査、要請等を実施した。 「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム・第2弾」の重点テーマの1つに「女性を犯罪から守る」を位置づけ、県民等への普及促進を図るとともに、地域の防犯活動等をけん引する「安全・安心まちづくり地域リーダー」の養成を行った。 安全・安心まちづくり地域リーダー養成数：16名 自治体等による街頭防犯カメラ等の設置を促進するとともに、警察本部においても、その設置を推進した。 警察本部における街頭防犯カメラ設置数：1基 	<p>子ども・福祉部少子化対策課</p> <p>警察本部生活安全部少年課</p> <p>環境生活部くらし・交通安全課</p> <p>警察本部生活安全部生活安全企画課</p>
<p>(4) 女性相談所における情報提供・相談助言および自立への支援</p> <p>加害者への対応・被害者保護</p> <p>犯罪の検挙・取締り等</p> <p>少年の福祉を害する性的犯罪等への取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> 女性相談所として福祉制度の情報提供や相談助言を行うとともに、一時保護により自立に向けた支援を行った。 一時保護件数：46件 加害者への対応として、検挙等の措置やストーカー規制法に基づく禁止命令・警告を実施したほか、地域精神科医療との連携に基づき、精神科医療への受診を働きかけた。また、被害者保護として、同法に基づく援助等を実施した。 ストーカー規制法違反等での検挙：27件 ストーカー規制法に基づく禁止命令・警告：48件 精神科の受診の働きかけ：2件（受診はなし） ストーカー規制法に基づく援助実施：179件 (令和2年中) 警察本部および各警察署において、あらゆる法令を活用して、凶悪犯罪の検挙活動を実施した。 性犯罪（強制的性交等、強制わいせつ）検挙件数：40件 (令和2年中) 少年の福祉を害する性的犯罪等の取締りを実施するとともに、関係機関と連携し、被害児童の保護・支援を実施した。 児童買春・児童ポルノ禁止法違反 検挙件数（人員）：16件（10名）（令和2年中） 	<p>子ども・福祉部子育て支援課</p> <p>警察本部生活安全部 人身安全対策課</p> <p>警察本部刑事部捜査第一課</p> <p>警察本部生活安全部少年課</p>

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
<p>人身取引防止に関する取組</p> <p>(5)</p> <p>女性被害に係る犯罪捜査教養の実施</p> <p>警察担当職員対象の研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・被害者の立場に十分配慮した相談・保護活動に努めるとともに、ポスターの掲示やリーフレットの配布など、人身取引防止に関する広報を実施した。 ・例年、入国管理局、女性相談所、男女共同参画センター「フレンテみえ」等の関係機関と緊密かつ円滑な連携を図るため、「人身取引対策に関する関係機関連絡会議」を開催しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、同会議の開催を中止した。 ・各警察署において主に性犯罪を取り扱う、女性警察官および男性警察官に対して、女性被害に係る犯罪捜査要領、鑑識資料採取要領等の教養を実施するとともに、被害者の心情に配慮した性犯罪捜査の推進についても教養を実施した。 ・犯罪被害者支援および安全相談を担当する警察職員を対象に、対応能力向上のための研修を実施した。 実施回数：9回、受講者数：192名 	<p>警察本部生活安全部生活環境課</p> <p>警察本部刑事部捜査第一課</p> <p>警察本部警務部警務課</p>

計画の推進

1 県の推進体制の充実と率先実行

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
(1) 男女共同参画推進 会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画に関する施策の円滑かつ効果的な推進を図るため、三重県男女共同参画推進会議等を開催し、事業の周知および連絡調整等を行った。 開催回数：推進会議3回、推進会議幹事会5回 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
庁内関係各課への 働きかけ	<ul style="list-style-type: none"> 「三重県男女共同参画推進会議幹事会」を通じて、庁内関係各課へ男女共同参画審議会による外部的評価である「中間評価」の内容を伝達し、施策への反映を働きかけた。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(2) 次世代育成のため の特定事業主行動 計画に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> 産育休取得により長期で職場を離れる職員への情報共有および職場を離れることへの不安軽減のため、職員として知っておきたい情報等を掲載したメールマガジンの配信を実施した。 令和元年度に策定した特定事業主行動計画（第2次後期計画）に基づき、「男性職員の子育てのための休暇・休業取得促進プログラム」を実施した。 	総務部人事課
「子育て支援アク ションプラン」の 推進にむけた取組	<ul style="list-style-type: none"> 次世代育成支援推進委員会を開催し、第四期特定事業主行動計画の取組状況等について議論した。 子育て応援メールマガジン「START」の発行による所属職員の意識啓発や、育児休業中の職員へのメールによる各種情報の送付（3回）を行った。 子育て中の男性職員を対象に、「父子健康手帳」を配付した。 「子育てのための休暇取得プログラム」の実施について、グループウェアへの掲載を通じて周知した。 初任者等がワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）についての理解を深めるため、男女共同参画に関する研修講座をインターネットを活用した「ネットDE研修」で配信した。 	教育委員会事務局教職員課 教育委員会事務局研修推進課

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
<p>(3) 働きやすい職場風土づくりの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワーク・ライフ・マネジメントシートやOJT計画書等を活用し、所属長と職員が面談による対話を行い、職員が働きやすく、またそれぞれの能力を最大限に発揮できる職場風土づくりに努めた。 主に、所属長向けに面談・「ほめる」方法、コーチング、フィードバックの方法などの面談スキルを学ぶ研修を実施した。 開催日：令和2年9月1日（火）午前・午後 9月3日（木）午前・午後 参加者数：52名 	<p>全部局</p>
<p>基本計画等の周知</p>	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画社会の実現に向け、「第2次三重県男女共同参画基本計画（改定版）」および「第2次三重県男女共同参画基本計画第二期実施計画（改訂版）」の周知に取り組んだ。 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>職員向け研修への情報提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修センターが行う職員向け研修への情報提供を行った。 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>(4) セクシュアル・ハラスメントの防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> セクシュアル・ハラスメントをはじめとする、あらゆるハラスメントのない職場に向けて、ハラスメント防止に関する研修会を開催した。 開催日：令和2年8月5日（水）～9月18日（金） 参加者数：192名（e-ラーニング） 対象者：新任班長・地域機関の新任課長等 ハラスメントのない良好な勤務環境を確保するための研修会を実施した。 開催日：令和3年1月14日（木）～2月5日（金） 参加者数：112名（e-ラーニング） 対象者：課長級昇任職員 	<p>総務部人事課</p>
<p>セクシュアル・ハラスメントの防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> セクシュアル・ハラスメントに係る教職員の綱紀粛正および服務規律の確保について、市町等教育委員会や県立学校長等へ通知（2回）を行い、趣旨の徹底を図った。 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、従来対面で行う職員に対する研修をネットDE研修で代替して行い、セクシュアル・ハラスメント防止の周知徹底を図った。 ハラスメントの防止等に関する基本方針を一本化して策定し、改めてセクシュアル・ハラスメントをはじめとするあらゆるハラスメントの防止について職員に周知し徹底した。 	<p>教育委員会事務局教職員課</p>
<p>(5) 広聴体制の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> 県政運営への活用を図るため、県民の声データベースシステムにより、県に寄せられた県民の皆さんからの意見およびその対応結果を職員間で情報共有するとともに、県民の皆さんとも情報を共有するためウェブサイトで公開した。 「みえ出前トーク」を実施し、県民の皆さんとの意見交換を行う機会を確保した。 	<p>戦略企画部広聴広報課</p>

2 男女共同参画に関する実施計画の策定および進行管理

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
(1) 第3次三重県男女共同参画基本計画および第一期実施計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次三重県男女共同参画基本計画を策定するとともに、第一期実施計画を策定した。 <ul style="list-style-type: none"> ○第3次三重県男女共同参画基本計画 計画期間：令和3年度～令和12年度 ○第3次三重県男女共同参画基本計画第一期実施計画 計画期間：令和3年度～令和7年度 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(2) 第二期実施計画（改訂版）による進行管理	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次三重県男女共同参画基本計画（改定版）の着実な推進を図るため、第2次三重県男女共同参画基本計画第二期実施計画（改訂版）に基づき施策の進行管理を行った。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(3) 年次報告書の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・三重県男女共同参画年次報告書を作成し、県議会へ報告した。 ・三重県における男女共同参画の現状、令和元年度事業実施概要、目標値および参考データ等を掲載した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(4) e-モニターアンケートなどの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画に関する県民の意識について実態を把握するために、e-モニターアンケートを実施し、県のホームページでアンケート結果の公表を行った。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

3 三重県男女共同参画審議会による施策評価の実施等

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
(1) 自己評価・外部的 評価の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画に関する施策の進捗状況等について、事業マネジメントシートに基づき、自己評価を実施した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
審議会による「中 間評価」の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・三重県男女共同参画審議会による庁内関係各課へのヒアリングを実施し、外部的評価として「男女共同参画施策の推進に係る中間評価」を取りまとめた。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(2) 庁内関係各課との 連携	<ul style="list-style-type: none"> ・三重県男女共同参画審議会による外部的評価である「中間評価」の内容を庁内関係各課へ周知するとともに、引き続き男女共同参画の視点での事業実施を働きかけた。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

4 市町等との協創

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
<p>(1) 市町審議会等への参画</p> <p>「CITYネット男女共同参画inみえ」への参加</p> <p>出前フレンテの実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・津市、伊賀市の男女共同参画審議会に委員として、鈴鹿市のSUZUKA女性活躍推進連携会議にオブザーバーとして参画した。 ・県内各市の男女共同参画担当者が一堂に会し、男女共同参画の業務に関する課題や問題点について話し合う「CITYネット男女共同参画inみえ」に参加し、情報提供や意見交換を行った。 1回参加/年1回開催（書面開催） ・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、市町の事業にあわせてパネルプレゼンテーションを実施する出前啓発事業「出前フレンテ」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p> <p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p> <p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>(2) 基本計画等に関する情報提供および取組支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次三重県男女共同参画基本計画（改定版）や女性活躍推進法に基づく推進計画に関する情報を市町に提供した。 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>(3) 国、県、市町、企業、団体等の取組の発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国、県、市町、企業、団体等の情報や取組を収集し、「女性の活躍推進三重県会議」会員企業への情報提供を行うとともに、同会議のFacebookページによる発信等をあわせて行った。 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>(4) 市町担当者研修の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・例年、市町男女共同参画担当職員を対象とした研修を行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。また、担当課長を対象とした「課長会議」を書面開催した。 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>(5) 大学における講義</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・例年、県内大学の授業において、男女共同参画に関する講義を行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>(6) 「女性の活躍推進三重県会議」企画委員会の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「女性の活躍推進三重県会議」の共同代表および会員企業7社の社員による企画委員会を4回開催し、企業目線での率直なご意見を取り入れながら本会議の運営を行った。 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>

5 男女共同参画センター「フレンテみえ」の機能の充実

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
(1) ホームページの充実	・男女共同参画センター「フレンテみえ」のホームページ上で「男女共同参画ゼミ」およびテーマにあわせた特設サイト「女性の想いをカタチに。ススム、変わる!」「オンライン・フレンテNew LIFE Style」を実施した。	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
ウェルカムセミナーの実施	・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、施設見学や講演を内容とするウェルカムセミナーを実施した。 開催回数：7回、参加者数：58名	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
「男女共同参画フォーラム」の開催	・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、ホールイベント、分科会、パネル展などをオンラインとのハイブリット形式で開催した。 開催日：令和3年3月7日(日) 参加者数：延べ222名	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
市町事業のPR	・「フレンテみえ」情報コーナーやホームページ等において市町のイベントや取組を紹介した。	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(2) 男女共同参画強調月間	・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、6月を男女共同参画強調月間と定め、パネル展を実施した。また、例年実施している「フレンテまつり」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となった。	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
事業での託児実施	・男女共同参画センター「フレンテみえ」が主催する全ての事業において託児を実施した。総合文化センターでは、一部の主催事業で託児を実施した。	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(3) 男性講座の実施	・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、男性の男女共同参画についての理解を促進することを目指し、講座を実施した。 〈男性講座〉 「怒りに負けない男をめざす ～しなやかな男のアンガーマネジメント術～」 参加者数：24名	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
県民の意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、国や県の施策に沿ったテーマを分かりやすく伝える講座を実施した。 <フォーカスみえ> 「痩せる×幸せのカンケイ ～なぜ私たちは痩せたがるのか～」 参加者数：42名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
DV被害者のケア・予防策	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、DV被害者のケアや予防策として、講座を実施した。 <自己尊重感を高めるトレーニング> 女性のための自分を好きになるトレーニング 開催回数：5回、参加者数：延べ49名 <あらゆる暴力で悩んでいる女性のための支援事業> 「パートナーとの関係で悩んでいる女性のためのグループ」 知識を得る。チカラをつける 開催回数：7回、参加者数：延べ57名 語り合う。自分を見つめる 開催回数：6回、参加者数：延べ30名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(4) 相談事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、各種相談を実施した。 電話相談：2,336件 面接相談：280件 法律相談：97件 男性のための電話相談：23件 LGBT電話相談：18件 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
相談員の能力向上・相談体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、毎月1回、相談コーディネーターから、対応困難な事例についての問題のとらえ方や援助方法について、指導助言を受け、相談員の能力向上と相談体制の整備を図った。 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、相談者の心情や現在の状況にあわせた相談ができるよう、外部研修に参加し相談に対する知識・技術向上を図った。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
フレンテみえ相談窓口の周知	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、フレンテみえ相談室専用パンフレットを作成・配布し、「フレンテみえ」が県民からのさまざまな相談に対応できる相談機関であることを周知した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(5) 調査研究事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、報告書「フレンテみえ講師派遣プログラムからみる男女共同参画の今後の展望」を作成、県内を中心に配布した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

事業	令和2年度事業実施概要	担当課
教材の開発 (6) 登録団体等のつどいを開催	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、啓発パネル「第5次男女共同参画基本計画」を作成した。 ・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、登録団体等のつどいを開催した。 〈フレンテ交流会「フレク！」オンライン〉 開催日：令和3年2月7日（日） 参加団体・人数：4団体、7名 〈登録団体のつどい〉 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課 環境生活部ダイバーシティ社会推進課
市町への取組支援	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、市町の取組の推進を図るため、予算的支援と同時に事業企画やノウハウの提供、運営相談等を行った。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
あらゆる場で活躍する、これからの男女共同参画に必要な人材を育成する事業	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、これからの男女共同参画に必要な人材を育成する講座を実施し、参加者へ修了証を発行した。 <種まきプロジェクト①“地域”編> 「女性の想いをカタチに。ススム、変わる！」 開催日：令和2年10月31日 令和3年1月16日・30日（各土） 3月7日（日） 参加者数：延べ39名 <種まきプロジェクト②“働く”編> 「“自分なんか”→“自分だから”へ！ 近未来リーダー育成プロジェクト」 開催日：令和3年1月13日（水） 22日・29日（各金） 参加者数：延べ24名 <種まきプロジェクト③“社会の課題”編> 「コロナ禍を生きる私たちが知っておきたいこと 非常時に深刻化する暴力 ～地域が果たせる役割とは～」 開催日：令和2年12月6日（日） 参加者数：25名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

